

令和元年度第1回麒麟のまち創生戦略会議議事概要

日 時：令和元年6月5日（水）午後4時～5時

場 所：智頭町保健・医療・福祉総合センターほのぼの

出席者：鳥取市長、鳥取市副市長、岩美町副町長、若桜町長、智頭町長、八頭町長、
香美町長、新温泉町長

1 開 会

2 議 題

議事事項

(1) 地方創生推進交付金について・・・・・・・・・・資料1

《八頭町長》地方創生推進交付金の KPI である圏域の観光入込客数、移住定住者数について、平成30年度の実績はいかがか。

《事務局》観光入込客数については、平成30年度の年度末の数値が出ていないので、別途報告する。

(2) 日本遺産認定に係る今後の取組について・・・・・・・・・・資料2

《岩美町副町長》「国内誘客プロモーション活動」で、今後職員が首都圏や関西圏でプロモーション活動をやるような計画があるか。また、誘客プロモーション後に、圏域でどのようなものを提供していくのか。

《事務局》プロモーション等の具体的な内容については、文化庁との協議を踏まえ、推進協議会において随時協議する。

《八頭町長》日本遺産の関係は6月定例会の案件であるが、早めの仕掛け、取組が必要。

《鳥取市副市長》早めの対応をする。

《新温泉町長》麒麟獅子舞のある祭りのとき以外は舞を見ることができないので、麒麟をどうPRするかが課題である。新温泉町ではキリンビールビバレッジとの企画で、自販機のインパネにDMOのロゴを設置した。鳥取県側の取組にもつなげられたい。

《事務局》（DMO）先日、5月末にキリンビール東中国様と協議をさせていただき、現段階では先方のお返事を待っている状況。自販機のインパネのみならず、パッケージの部分についても提案しており、回答があれば情報共有し、対応を検討する。

《鳥取市副市長》BS-TBSで日本遺産の特集番組を制作しており、鳥取エリアへの売り込みがあった。テレビ放送後は、映像が使用できるとのことで、圏域のプロモーション映像等にできる可能性がある。撮影場所等の相談を、各町へさせていただくことになるので協力をお願いする。

《新温泉町長》日本遺産認定を、本当の意味で1市6町の活性化につなげていくことが課題である。

先日、本町では麒麟獅子マラソンを実施し、約3,200人の参加者があった。宿泊等で、鳥取市・岩美町・香美町への経済効果もあったようだ。大きな事業の場合の（宿泊）料金の統一など、連携したPRをすれば、さらに全体の利用数が増えるのではないか。

《事務局》（DMO）統一料金ではなく、料金体制のパターンを作ることで対応したい。顧客ニーズに合った料金体制を数パターン考え、ターゲットに届く方法を検討したい。

《新温泉町長》麒麟獅子舞を、いつ・どこの集落で見ることができるという一覧表があるか。

《事務局》一覧表がある。文化庁への申請においても、常時見ることができるのかがポイントであった。舞を見たい方には、3～5月の祭りが集中している時期の案内をし、また本物の舞を見ることができなくても圏域を訪れた際に「麒麟のまち」を感じられる演出をしていくことが大切である。

《事務局》（DMO）日本遺産認定後に、旅行会社からプラン造成の依頼があり、実際の麒麟獅子舞の舞を見せることができるかどうかネックになっている。保存会等を中心に調整し、リクエストに応じていきたい。

(3) 鳥取砂丘コナン空港発着路線の維持・拡大について・・・資料2

《香美町長》コンテスト枠の目標値が有償搭乗者数38万人の「有償」の意味は。

《事務局》有料の意であり、マイル利用などではない搭乗者数。

《香美町長》鳥取一東京便の利便性を高めるための運賃低廉化など指摘があったが、働きかけで何か変わってきたのか、搭乗者数で変化があるものなのか。

《事務局》搭乗者数での設定ではない。昨年度、低廉化の要望活動を行ってきた中で、ANAで75日前割引商品の対応をいただいた。この商品が、搭乗者数40万人の目標達成に大きく貢献している。ANAとも連携を密にし、東京一鳥取便の5便化の継続に取り組む。

《香美町長》地域別の搭乗者数は把握できるのか。

《事務局》できない。

《岩美町副町長》コンテスト最終年を迎えて、今後の見通しは。

《事務局》7月か8月に、国からコンテスト枠の配分基準が示される予定。示される内容により、5便化の継続に向けての要望を強化するのか、ANAと連携を強化した利用促進の新たな取組をするのかを検討する。

(4) 「麒麟のまち関西情報発信拠点」を活用した圏域フェアについて・・・資料4

《岩美町副町長》物販について、各町の売りたいものと顧客の買いたいものと、情報共有が

できているか。

《事務局》管理運営を行う地域商社が担当者を配置しており、各町を通じて、地元企業・生産者様を御紹介いただき、商品を収集している。売上、利用者ニーズについては、毎月定例会議を開催し、分析・検証を行い、この結果を、各町を通じて各企業・生産者様へ情報共有することで、商品のブラッシュアップを図る取組につなげている。

《岩美町副町長》圏域フェアは各町の単独イベントであるが、1市6町の圏域で必要な数量を集めるなど、求められるロットに対応する取組はいかがか。

《事務局》圏域フェア等のイベントを通じて、大阪の企業、ホテル、販売店等のニーズがあれば、ロットを集め、販路拡大を強化し、営業展開していく。

(5) 婚活事業について・・・・・・・・資料5

《鳥取市副市長》今後、説明のとおり進めていく。

(6) エリアプロモーション事業の取組（インターネット放送番組）について・・資料6

《鳥取市副市長》今後、説明のとおり進めていく。

3 その他

4 閉会